

平成 25 年 5 月 21 日 現在

スキー議員連盟 役員（案）

顧問	小坂 憲次（自）	山崎 正昭（無）
	小野寺 五典（自）	
会長	遠藤 利明（自）	
会長代理	橋本 聖子（自）	
副会長	荒井 聰（民）	河野 太郎（自）
	近藤 昭一（民）	大島 敦（民）
	後藤田 正純（自）	武正 公一（民）
	松野 頼久（維）	
幹事長	今津 寛（自）	
常任幹事	馳 浩（自）	篠原 孝（民）
	中田 宏（維）	高鳥 修一（自）
	中根 一幸（自）	
事務局長	坂本 祐之輔（維）	
事務局次長	西野 弘一（維）	

スキー議員連盟 設立趣意書

これまでオリンピック・パラリンピックなど様々なスポーツの国際競技大会での日本人アスリートの活躍は国民に多くの夢や感動、誇りを与えるとともに、日本に大きな活力を与えてきました。そして、日本人アスリートの今後さらなる活躍が期待されています。

また、2011年にはスポーツ基本法が制定され、「スポーツの力で、日本を元気に」とのスローガンのもと、スポーツ振興の機運が高まっています。

このようにスポーツに対する関心が高まりつつある中で、我々は国民的にも人気や関心の高いスキーの普及・振興を通じて、日本のスポーツをさらに盛り上げ、日本の発展にも貢献していくべきと考えます。

さて、スキーを取り巻く環境は年々厳しさを増し、1980年代におよそ1,600万人に達したスキー人口は、以降、減少傾向にあり、スキーヤーの高齢化や少子化によるスキー人口のさらなる減少も懸念されています。

ノルウェー人の北極探検家でノーベル平和賞受賞者のフリョフ・ナンセンは「あらゆるスポーツの中で、その王者に値するスポーツはスキーをおいてほかにない。」との言葉を残しました。我々は国会議員の立場からスキーの楽しさや喜びを発信し、また政策面からバックアップすることで、スキーの普及・振興を図り、多くの国民にスキーを楽しんでいただくとともに、競技力を向上させ、世界で活躍するスキー選手を支援していきたいと考えます。そして、さらに日本のスポーツを活性化させることにより、国民の心身の健全な発達に寄与し、日本の社会・経済にも大きな活力を与えるものと確信します。

また、スキーを振興することで、スキー人口の減少で経営が厳しくなっているスキー場に再び賑わいを取り戻し、さらにはスキー場とその周辺地域を含めた観光産業が再構築されることにより、地域経済の活性化に資することも期待されます。

以上の趣旨からスキー議員連盟を設立いたします。本旨をご理解いただき、党派を超えた多くの議員各位が参加してくださることを期待しています。

平成 25 年 5 月 9 日

呼びかけ人一同